

国土交通省 清水港湾事務所 広報紙

みなとしみず

SINCE 1990.6

～清水港をはじめ静岡県内の「みなと」の旬な情報をお届けします！～

発行



国土交通省 中部地方整備局
清水港湾事務所



静岡市清水区日の出町7番2号

TEL 054-352-4146（代表）

事務所HP

<https://www.shimizu.pa.cbr.mlit.go.jp>

～謹賀新年～ 年頭の挨拶（清水港湾事務所長 滝川 尚樹）

新年明けましておめでとうございます。

本年は、いよいよ国際クルーズ船の寄港が再開する、アフターコロナの新時代が始まる重要な年です。地域の皆様と協力し、港の賑わい復活に向けて取り組みたいと考えております。

昨年来、不安定化する国際情勢の中で、物流の効率化を通じ地域産業を下支える港湾整備の重要性は益々高まっていると感じています。ターミナルの高度化や、港湾施設の老朽化対策を、しっかりと進めて参ります。

また、昨年は、台風15号等により静岡県内に大きな被害・影響が生じました。被害に遭われた方には心よりお見舞い申し上げます。日本を襲う災害は激甚化する傾向にあり、大規模災害の発生も懸念されます。当事務所では、これらに対応した強靱な港湾づくり、海上防災ネットワークの構築、災害復旧・復興の要となる地元建設業者の皆様との連携強化を着実に進める所存です。

どうぞ、本年も何卒よろしくお願いいたします。

清水港湾事務所長 滝川 尚樹



2023年1月 清水港

清水港興津フェアに参加しました

令和4年10月16日に静岡市清水区興津第一埠頭にて、清水港興津フェアが開催され、7演目のステージパフォーマンスと30のブースが出展され、多くの人々で賑わいました。

当事務所は、清水港の歴史や港の施設の役割について説明し、説明を聞いた方からは、「清水港の外港防波堤の高さが海底から約18mもあり、全長2kmもあるとは思わなかった」などの感想をいただきました。



イベント当日の様子

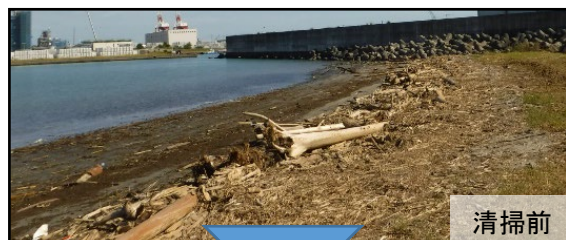
くびしょう

御前崎港久々生海岸の清掃を行いました！

御前崎港西側の久々生海岸には、静岡県指定の準絶滅危惧種であるコアマモやアマモ等が自生・群生しています。しかし、ゴミや流木が漂着しており、漂着物が増加すればアマモ場に影響を及ぼす恐れがあります。

そこで昨年に引き続き清水港湾事務所、静岡県、御前崎開港50周年記念事業実行委員会、御前崎港港湾建設工事安全協議会の共催で海岸清掃を行いました。

当日は80人ほどの参加者が集まり、きれいな海岸を取り戻すことができました。



清掃前

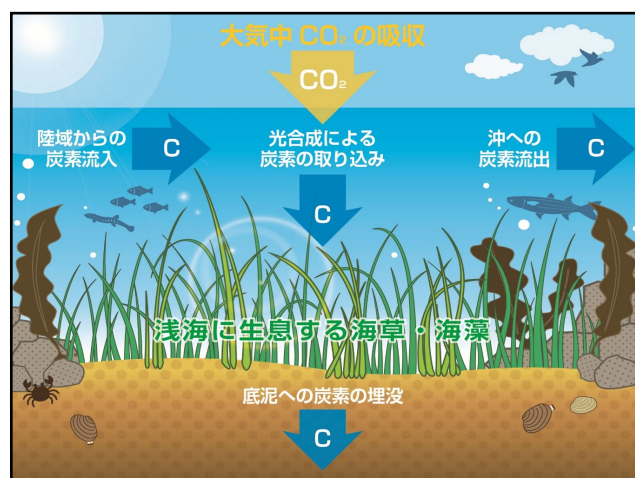


清掃後

静岡県内の2つプロジェクトが「Jブルークレジット®」に認証されました

久々生海岸に自生・群生しているコアマモ場について、ビーチクリーン活動等による藻場の維持・拡大により豊かな海を維持するため、静岡県及びNPO法人Earth Communicationにより、1.0トンの吸収量を持つブルーカーボン生態系としてクレジット申請され、令和4年11月に認証を受けました。

また、榛南地域磯焼け対策推進協議会が申請した「榛南地域における藻場再生プロジェクト」の吸収量49.1トンもクレジット認証を受けました。



ブルーカーボン生態系におけるCO2吸収の仕組み

「清水港農産物輸出セミナー・商談会」を 山梨県甲府市で開催しました

令和4年12月20日、山梨県甲府商工会議所において、農産物生産関係者、輸出事業者の皆様を対象に「清水港農産物輸出セミナー・商談会」を農林水産省関東農政局と共同で開催しました。会場・WEB参加者を含め全国から約190名の参加がありました。

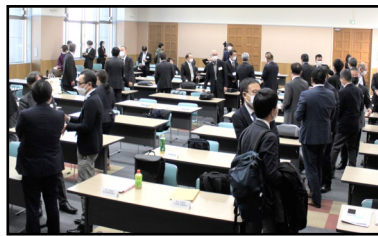
開催にあたり、勝俣農林水産副大臣や清水国土交通大臣政務官からご挨拶いただきました。

セミナーでは、清水港からの農産物・食品輸出に関する最新の情報提供や、当事務所で実施している海上コンテナによる農産物鮮度保持試験の結果報告などを行い、清水港を活用した農産物・食品の輸出可能性等について知見の共有を図りました。

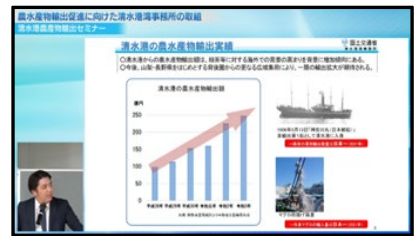
今後も、山梨県や長野県も含め、農産物等の広域的な輸出拠点としての清水港の機能強化に向けた取組を官民一体となって推進して参ります。



講演の様子



商談会の様子



WEB配信の様子

東伊豆町稲取漁港で船舶を使った海上輸送訓練を実施 「命のみなとネットワーク」の形成に向けた取り組み

令和4年10月4日、静岡県東伊豆町稲取漁港において、船舶を活用した海上からの緊急支援物資輸送、被災者支援訓練を実施しました。

訓練想定は「風水害による大規模な土砂崩れにより東伊豆町周辺の主要道路が寸断し、交通や物流が遮断され孤立した状態」とし、次の①～③の訓練について、実効性や効果の検証を行いました。

- ①当事務所所属の港湾業務艇「まさき」と漁船による清水港からの支援物資連携輸送訓練。
- ②帰宅困難となった観光客の海上移送訓練。
- ③内陸の県立稲取高校に向け、海上に停泊した「まさき」からドローンを離発着させた支援物資輸送訓練。

訓練終了後には、訓練参加者による「静岡県（伊豆東部）における港湾・漁港を活用した防災ネットワーク推進連絡会議」を開催し、「船舶やドローンを使った防災訓練は初めてで、防災に関する意識が高まった」「海象条件により船舶が出せない場合はどうすべきか」など活発な意見交換がなされ、より実効性の高い災害支援活動につながる場となりました。



漁船に支援物資を積み替え



帰宅困難となった観光客の人員移送



海上船舶から離陸するドローン

田子の浦ポートフェスタに参加しました

令和4年11月20日に田子の浦港にて、田子の浦ポートフェスタ2022が開催されました。

このイベントは田子の浦港周辺のにぎわい創出と、海と港の魅力を身近な存在としてより一層親しまれることを目的として開催されています。

今年は、海上自衛隊 特務艇「はしだて」の展示や、帆船「みらいへ」による乗船体験など様々な催しが行われ、多くの人々で賑わいました。

当事務所も防波堤模型による造波実演や田子の浦港の歴史、直轄工事の内容をパネルにして展示しました。当日は、沢山の親子連れの方に足を運んでいただき、港の施設について知っていただけました。



防波堤の役割について実演する様子



海上自衛隊 特務艇「はしだて」

全国の海の幸が大集合！ ～ Sea級グルメNo.1はどこだ～



令和4年11月12日から2日間、愛媛県八幡浜市で第13回Sea級グルメ全国大会が開催されました。

当日は地元から遠方まで27つのブースが出店され、多くの人々で賑わいました。

来年の全国大会は、10月に沼津市で開催することが決定しており、令和5年2月4日にプレイベントが沼津港の沼津魚市場第一市場で開催されます。

詳しくは沼津市HPをご覧ください。

(静岡県沼津市公式ホームページ (city.numazu.shizuoka.jp))

今年の結果の詳細については、八幡浜みなとHPをご覧ください。

(八幡浜みなと | オフィシャルホームページ (minatto.net))



投票の様子



沼津市出店ブース



会場の様子



沼津小判めし
(アジと深海魚の本エビを使用)

出展：沼津市HP

海とみなとの相談窓口



全国共通フリーダイヤル

おーいに よくなれ みなと

0120-497-370

受付時間：9時30分～12時、13時～17時(土・日、祝祭日は除く)
携帯電話からもご利用いただけます

- ・海やみなとの利用に関すること
- ・総合的な学習時間に関すること
- ・みなとの構想や計画に関すること
- ・海洋土木技術に関すること
- ・みなとの防災に関すること

その他、海とみなとに関することは
何でもお問い合わせください

■お問い合わせ先■

清水港湾事務所 企画調整課

TEL 054-352-4148

pa.cbr-shimizukouwan@mlit.go.jp

ご意見・ご感想をお寄せ下さい。

清水港湾事務所では、学校、企業、自治会の皆様を対象にみなと見学会を行っています。

詳しくは、ホームページをご覧ください